

果樹園だより

徳島県立池田高等学校三好校



「ありがとう」を大切に！！

㊦㊦ナシ（幸水）販売㊦㊦

8月8日（土）ナシ（幸水）の販売を行いました。当日は9時半からの販売でしたが、新聞を読んで遠くから来られた方2名は8時に敷地農場に来ました。そのあとも続々と早い時間に来ていただき、待合所に入れないほどになりました。

9時半に販売会場を開けると、多くの方で会場がいっぱいになり、あっという間にナシは売り切れになりました。みなさまお買い上げありがとうございました。



㊦㊦今度はカメムシ㊦㊦

幸水の収穫が終わり、そろそろ豊水の収穫時期を迎えたころ、カメムシが多く発生していました。これまでもカメムシの被害はあったのですが、今年は例年以上に被害がありそうです。

カメムシに果汁を吸われると、その箇所が大きく凹み、見た目が悪くなるため、商品にはなりません。収穫直前なので、消毒剤が散布できないこともあり、見守るほかありません。



㊦㊦豊水の収穫㊦㊦

今年の豊水はカメムシの発生もあり、例年より少し早く収穫しました。まずは予約をいただいている量を確保するため、大きい実から収穫していきましたが、袋を開けてナシを見ると、想像した通り、多くのナシにカメムシの被害があり、処分せざるを得ませんでした。予約をいただいた分は何とか収穫できたことは良かったです。



実がまだ大きくないものは、少し様子を見て、収穫する予定ですが、カメムシの発生が収まっていないことから、残っている分も期待はできません。豊水の収穫を楽しみに待っていてくださったみなさま、申し訳ございません。

㊦㊦老木のクリの樹㊦㊦

敷地農場にはクリの老木が多くあります。老木になると、強風が吹かなくても、小動物が登っただけでも折れてしまいます。また、養分がゆきわたらなくなった樹は葉がつかなくなり、実をつけることもありません。



㊦㊦農業クラブ四国大会㊦㊦

農業クラブ意見発表四国大会が8月24、25日に阿南市で行われました。分野Ⅰ類の徳島県代表として、果樹専攻3年の谷藤ここねさんが出場しました。谷藤さんは7月に行われた県予選で最優秀賞を取っています。

発表題目は「ナシ栽培技術を応用した低樹高モモ棚栽培への挑戦」、発表時間7分の中で、6分57秒という時間設定通りの発表ができたのは、ゴールデンウィーク明けから土日を含め、練習を積み重ねていった結果だと思います。県予選や四国大会を通して、大きく成長しているのが実感できました。



㊦㊦ブドウの試食㊦㊦

ブドウの収穫を前に、ブドウの試食をしました。今回の試食分はハウス奥の日当たりのあまり良くない場所のブドウでしたが、糖度計測では17.8度でした。これはベリーAの平均糖度で、試食すると想像以上に甘かったです。



㊦㊦ブドウの収穫・出品㊦㊦

ブドウを収穫し、近くの農直販売所に出品しました。ブドウの重さは600g～1200gとかなり大きく育ちました。甘さも十分にあり、購入していただいた方には喜んでもらえると思います。

出品したブドウはすべて即日完売するほど大人気となりました。



㊦㊦2学期が始まりました㊦㊦

いよいよ2学期のスタートです。授業初日の実習はナシの収穫をしました。ナシはほぼ全部がカメムシの被害にあい、表面がデコボコになっていました。ほとんどが処分となりました。辛うじて食べられそうなものは生徒たちで試食しました。

㊦㊦ナシ台の片付け㊦㊦

新学期早々雨の日が続きました。雨の日は外の作業ができません。この日は、倉庫内にあるナシ選別で使ったナシ台の片付けをしました。この場所は10月には、クリのイガ剥きの作業場となります。



㊦㊦排水用溝作り㊦㊦

農場の管理棟から果樹園に向かう通路は、雨が続くと大きな水たまりができます。翌日は大雨になる予報だったので、雨の合間に排水ができるよう溝を作りました。水たまりをそのままにしておくと、泥臭くなり、虫も発生しやすくなるので、衛生的にも良くありません。

